

授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】 小林量作・佐藤成登志・安達千佳子	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期（前半）	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

1. A D L についての基本的な知識を習得している。
2. 実習で接する代表的な疾患の A D L について学習している。
3. 問題点に対する目標設定、プログラム立案までできている。
4. 学生のグループが学習・発表を体験している。

【＜行動目標：S B O＞】

1. 概念について理解している。
2. 評価について理解し、各種評価方法の特徴について理解している。
3. 起居・移動動作、身の回り動作指導について理解している。
4. 各種疾患の A D L について理解している。
5. 問題点を抽出し、プログラムを立案できている。
6. 福祉用具についての理解している。

回数	授業計画又は学習の主題	S B O	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	概念、範囲、分類	1	講義 小林
2	A D L 評価（総論）	1	講義 小林
3	A D L 評価（各種方法 1）	2	講義 小林
4	A D L 評価（各種方法 2）	2	講義・演習 小林
5	起居・移動動作 1（学生発表）	3	講義・演習 小林
6	起居・移動動作 2（学生発表）	3	講義・演習 小林
7	身の回り動作 1（学生発表）	3	講義・演習 小林
8	身の回り動作 2（学生発表）	3	講義・演習 小林
9	身の回り動作 3（学生発表）	3	講義・演習 小林
10	身の回り動作 4（学生発表）	6	講義・演習 小林
11	身の回り動作 5（学生発表）	5	講義・演習 小林
12	身の回り動作 6（学生発表）	4	講義・演習 小林
13	下肢関節疾患の A D L	4	講義・演習 佐藤
14	下肢関節疾患の A D L	4	講義・演習 佐藤
15	片麻痺の A D L	4	講義・演習 安達
16	片麻痺の A D L	4	講義・演習 安達

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正編	医学書院	2005
参考書	日常生活活動（動作）—評価と訓練の実際—	土田弘吉・他編	医歯薬出版	1992年
	日常生活活動（A D L）	橋本 隆・他編	神陵文庫	1998年
その他の資料	資料配付			

【評価方法】

出席、発表、レポート、小テスト、期末試験、その他

【履修上の留意点】

教科書の予習を必ず行うこと。